学校法人 小林学園
本庄東高等学校
きりぐるま
第155号

建学の精神
本校は人間の尊さを教え
社会に期待される素地を創り
人生に望みと喜びを
与えるところである

第５０回体育祭

くまがやドーム開催

六月一日（木）に体育祭が熊谷スポーツ文化公園内のくまがやドームにて実施された。今年で体育祭は節目の五〇回を迎えることに加え、初のドーム開催ということもあり、多くの保護者の方々の参観もいただきながら盛大な雰囲気の中行われた。

１学年優勝　９組

私たち九組の体育祭はビリから始まった。それは、長縄予選の結果にある。この時から九組はクラス一丸となって練習に取り組んだ。当日は、綱引きやリレーなどの競技はもちろん、応援でもクラスが一つになり、堂々の第一位に輝くことができた。私が体育祭で学んだことは、最後まで諦めないことである。スタートがどんなに悪くても、皆と協力して頑張れば今回のような結果が出せると思うからだ。これは体育祭に限ったことではない。これから先どんなことでも、諦めず最後まで頑張っていきたい。（一の九 坂田 未来）

２学年優勝　８組

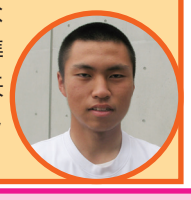
○×クイズの全問正解が私たちの優勝への道のりの大きな一歩だったように思う。ダンシング玉入れでは女子たちが会場を魅了し、クラス対抗リレーでは女子は一位、男子は二位になることができた。中でも、予選を突破した綱引きは、接戦でありながらもクラス一致団結して、優勝することができた。その時の皆の笑顔はとても輝いていて、きっと忘れることはないだろう。八組の団結力と努力が実を結び、学年優勝することができた。体育祭を通して、クラスの絆や頑張ることの大切さを感じることができた。（二の八 今井 悠貴）

３学年優勝　１１組

今年の体育祭はクラス全員緊張していたと思います。私自身も、とても緊張していて、前日の夜はあまり寝ることができませんでした。なぜなら、二年連続学年総合優勝が懸かっているのと同時に、他クラスから追われる立場だったからです。昨年の体育祭は「優勝」という具体的な目標がありましたが、今年は自分たち自身との戦いです。また追われる立場になると、気持ちの面で守りに入ってしまい、力を出し切ることが難しくなります。しかし、体育祭当日はクラス全員で一致団結し、二連覇を達成することができました。周囲から追われるプレッシャーの中での勝利は簡単にできることではないので、十一組は本当にすごいことを成し遂げたのだと思いました。（三の十一 阿部 嘉敬）

体育委員長

今回の体育祭は第50回の記念大会ということと併せて、初のくまがやドーム開催ということでとても盛り上がりました。どのクラスもこの日のために気合いを入れて練習を重ねてきたことが伝わってきました。最も印象に残ったのは３年生男子の応援合戦です。エネルギッシュなパフォーマンスが多く圧巻でした。体育祭の準備をしてくださった先生方や生徒の皆さん、来場してくださった保護者の方に心から感謝申し上げます。（3―15　中島 純之介）



ダンス部

今年は３年生最後のステージを、くまがやドームでたくさんの方々に見ていただきました。改めて仲間と踊ることの楽しさを感じ、幸せでした。私たちが引退を迎えることができたのは、応援してくださった方々のおかげです。ダンス部で学び、過ごした時間は、私の人生において大きな糧になると思います。本当にありがとうございました。これからも進化し続けるダンス部をよろしくお願いします。（３―２ 髙柳 沙映）

草津研修（一学年）

四月二〇日(木)から二一日(金)にかけて、一年生の草津校外研修が行われた。高校入学後初めての宿泊研修であったが、生徒はどのように感じたのか、感想を聞いてみた。

クラス研修では、グループで話し合いをしました。そのとき、みんなそれぞれ違った考えを持っていて「こんな考え方があるんだ」と驚くこともありました。スポーツ大会では良い結果は残せなかったけれど、とても楽しく、クラスメイトの新たな一面を知ることができました。この研修を通して、仲間と協力して何かを達成することにより仲が深まるということを学びました。これからは他クラスの友達も増えるよう、たくさんの人と関わっていきたいです。（一の二　伊吹 彩香）

社会で生活していくために、今自分は何をしたら良いかを、草津研修を通して、今までよりも考えるようになりました。「しっかり挨拶をしよう」「しっかりお礼を言おう」と、自分でも意識して生活できました。また、研修前よりも一つひとつの行動や動作が素早くなったと思います。それは私が以前から課題にしていたことだったので、自分自身でも成長を感じることができ、とても嬉しいです。これからも続けていきます。（一の五 恩田 栞）

ＰＴＡ・後援会通常総会

平成二九年度ＰＴＡ後援会通常総会は、五月二七日（土）に高校第一体育館にて開催された。前年度の事業・決算・監査の報告と、本年度の事業計画・予算について、いずれも賛成多数で可決された。また、別表の通り新本部役員人事が承認された。

続いて行われた保護者研修会では、タレントでエッセイストの小島慶子氏をお迎えし、「絶体絶命は打ち出の小槌 ～ピンチこそチャンス～」の演題のもと講演をいただいた。

平成29年度ＰＴＡ・後援会役員

（ＰＴＡ）

役職名	氏　名	支部名
顧　問	小林玉枝	――
会　長	髙橋大介	本　庄
副会長	藏並潤一	群　馬
〃	中澤文代	熊　谷
〃	村山　勝	寄　居
監　事	金井義幸	本　庄
〃	町田映子	群　馬
〃	大久保葉子	熊　谷
会　計	水野　淳	深　谷
〃	石井佐絵子	行　田
〃	德永友子	児　玉
埼私学保連	平井明子	鴻巣以南
〃	飯野正和	鴻巣以南

（後援会）

役職名	氏　名	支部名
会　長	富田　実	寄　居
副会長	後藤一恵	行　田
〃	葛原浩子	鴻巣以南
〃	竹並達也	本　庄
監　事	石井清実	深　谷
〃	松浦由香吏	熊　谷
〃	新谷由加里	群　馬
会　計	呉　久美子	群　馬
〃	髙橋真弓	児　玉
〃	川島裕之	深　谷

（ＰＴＡ支部）

支部名	支部長名	担当教諭
本　庄	山田　敬子	髙坂・戸塚・松澤
児　玉	山本　淳	青木・有村・斉藤
深　谷	大谷　信行	田村・宮嵜・村木
熊　谷	門倉　貴信	山崎・井上・二神
行　田	小山田智子	関口・菊池・石井
寄　居	岡田　英樹	宮下・太幡・木本
鴻巣以南	金子　明子	福田・飯野・福岡
群　馬	水出　幸絵	唐澤・北村・田口

発行・本庄東高等学校（附属青葉幼稚園）埼玉県本庄市日の出１―４―５　TEL.0495―22―6351　　印刷／㈲本庄孔版社　TEL.0495―22―4436
［ホームページ］http://www.honjo-higashi.ed.jp　［メールアドレス］mailadm@honjo-higashi.ed.jp